

# 2015年3月期 第3四半期決算報告

2015/2/13

第一生命保険株式会社

一生涯のパートナー

**第一生命**

- 成長分野の保険料収入が好調に推移し、連結経常収益は大幅に増加。  
第一生命の順ざやなど、基礎利益の改善が、連結経常利益・連結純利益の大幅増加を牽引。
- 第3四半期累計の連結純利益は通期業績予想を上回る進捗。  
ただし、法人税減税の決算への影響も勘案しながら、第4四半期の金融環境を見極める必要があることから、現時点では通期の業績予想を据え置き。
- 2014年12月末のグループ・エンベディッド・バリュー(試算値)は、9月末比で増加し、約5兆3,900億円に。低金利環境下においても各社のEEVは増加。

## 第一生命グループ業績 - 業績ハイライト

一生涯のパートナー

第一生命

- 好調な銀行窓販と資産運用収支の改善により、大幅な増収・増益
- 連結純利益は通期業績予想を上回る進捗

(億円)

	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計 (a)	前年同期比	
連結経常収益	44,770	53,499	+8,728	+19%
第一生命単体	32,684	34,588	+1,904	+6%
連結経常利益	2,277	2,865	+587	+26%
第一生命単体	2,338	2,803	+465	+20%
連結純利益	738	1,317	+578	+78%
第一生命単体	828	1,313	+484	+58%

2014/11/14 発表予想(b)	進捗率(a/b)
64,090	83%
44,000	79%
3,180	90%
3,100	90%
800	165%
790	166%

## ■ 保険販売の好調と、資産運用収支の改善が業績に貢献

### 連結損益計算書(要約)<sup>(1)</sup>

(億円)

	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	増減
経常収益	44,770	53,499	+8,728
保険料等収入	31,534	39,460	+7,925
資産運用収益	10,759	11,424	+665
うち利息・配当金等収入	5,690	6,273	+582
うち有価証券売却益	1,819	1,429	△389
うち特別勘定資産運用益	2,901	3,191	+289
その他経常収益	2,476	2,613	+137
経常費用	42,493	50,633	+8,140
うち保険金等支払金	21,285	24,800	+3,514
うち責任準備金等繰入額	12,311	17,421	+5,109
うち資産運用費用	1,817	1,009	△808
うち有価証券売却損	491	200	△291
うち有価証券評価損	8	5	△2
うち金融派生商品費用	545	292	△252
うち事業費	3,782	4,142	+360
経常利益	2,277	2,865	+587
特別利益	23	31	+8
特別損失	294	197	△96
契約者配当準備金繰入額	702	784	+81
税金等調整前純利益	1,303	1,915	+611
法人税等合計	577	597	+20
少数株主利益(△は損失)	△12	0	+13
純利益	738	1,317	+578

### 連結貸借対照表(要約)

(億円)

	14/3末	14/12末	増減
資産の部合計	377,051	415,930	+38,878
うち現預金・コール	10,613	16,556	+5,942
うち買入金銭債権	2,818	2,750	△67
うち有価証券	312,035	343,139	+31,103
うち貸付金	30,247	30,481	+234
うち有形固定資産	12,158	11,946	△212
うち繰延税金資産	57	13	△44
負債の部合計	357,575	382,274	+24,699
うち保険契約準備金	333,275	350,719	+17,443
うち責任準備金	325,749	342,868	+17,119
うち退職給付に係る負債	3,854	3,750	△103
うち価格変動準備金	1,181	1,300	+119
うち繰延税金負債	151	4,376	+4,225
純資産の部合計	19,476	33,655	+14,179
うち株主資本合計	6,285	10,183	+3,898
うちその他の包括利益累計額合計	13,184	23,463	+10,279
うちその他の有価証券評価差額金	13,227	22,862	+9,635
うち土地再評価差額金	△383	△385	△2

(1) 特別勘定資産運用損(益)は、責任準備金の戻入れ(繰入れ)で相殺されるため、経常利益には影響するものではありません

# 第一生命グループ業績 - グループ各社の業績

一生涯のパートナー

第一生命

	【第一生命】			【第一フロンティア生命】			【豪TAL】 <sup>(1)</sup>			【連結】		
	(億円)			(億円)			(百万豪ドル)			(億円)		
	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	前年 同期比	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	前年 同期比	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	前年 同期比	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	前年 同期比
経常収益	32,684	34,588	+6%	10,364	16,877	+63%	2,062	2,362	+15%	44,770	53,499	+19%
保険料等収入	21,009	23,166	+10%	8,990	14,185	+58%	1,688	2,067	+23%	31,534	39,460	+25%
資産運用収益	9,295	8,852	△5%	1,374	2,692	+96%	244	193	△21%	10,759	11,424	+6%
経常費用	30,346	31,785	+5%	10,489	16,953	+62%	1,976	2,212	+12%	42,493	50,633	+19%
保険金等支払金	17,792	19,797	+11%	2,499	3,677	+47%	1,153	1,355	+18%	21,285	24,800	+17%
責任準備金等繰入額	4,822	4,800	△0%	7,254	12,421	+71%	333	313	△6%	12,311	17,421	+42%
資産運用費用	1,546	1,201	△22%	360	71	△80%	24	28	+17%	1,817	1,009	△44%
事業費	3,025	2,926	△3%	339	703	+107%	401	433	+8%	3,782	4,142	+10%
経常利益(△は損失)	2,338	2,803	+20%	△ 124	△ 75	--	85	150	+75%	2,277	2,865	+26%
特別利益	23	29	+24%	--	--	--	--	--	--	23	31	+36%
特別損失	289	183	△37%	5	14	+160%	--	--	--	294	197	△33%
少数株主利益(△は損失)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	△ 12	0	--
純利益(△は損失)	828	1,313	+58%	△ 130	△ 90	--	52	109	+111%	738	1,317	+78%

(1) 豪TALの数値は、オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております

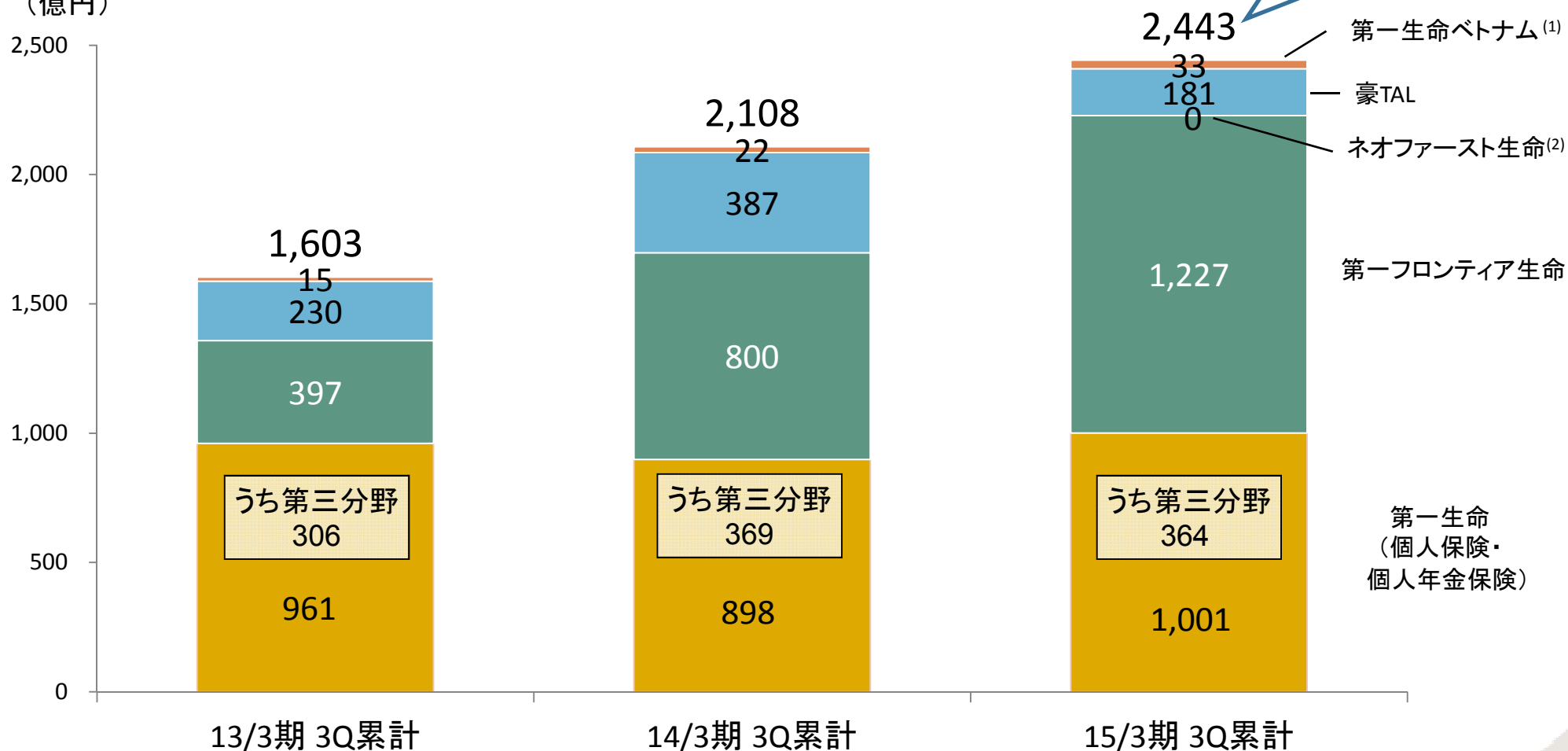
# 第一生命グループ業績 - 新契約動向(年換算保険料ベース)

一生のパートナー

第一生命

## 第一生命グループの新契約年換算保険料

(億円)



(1) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。

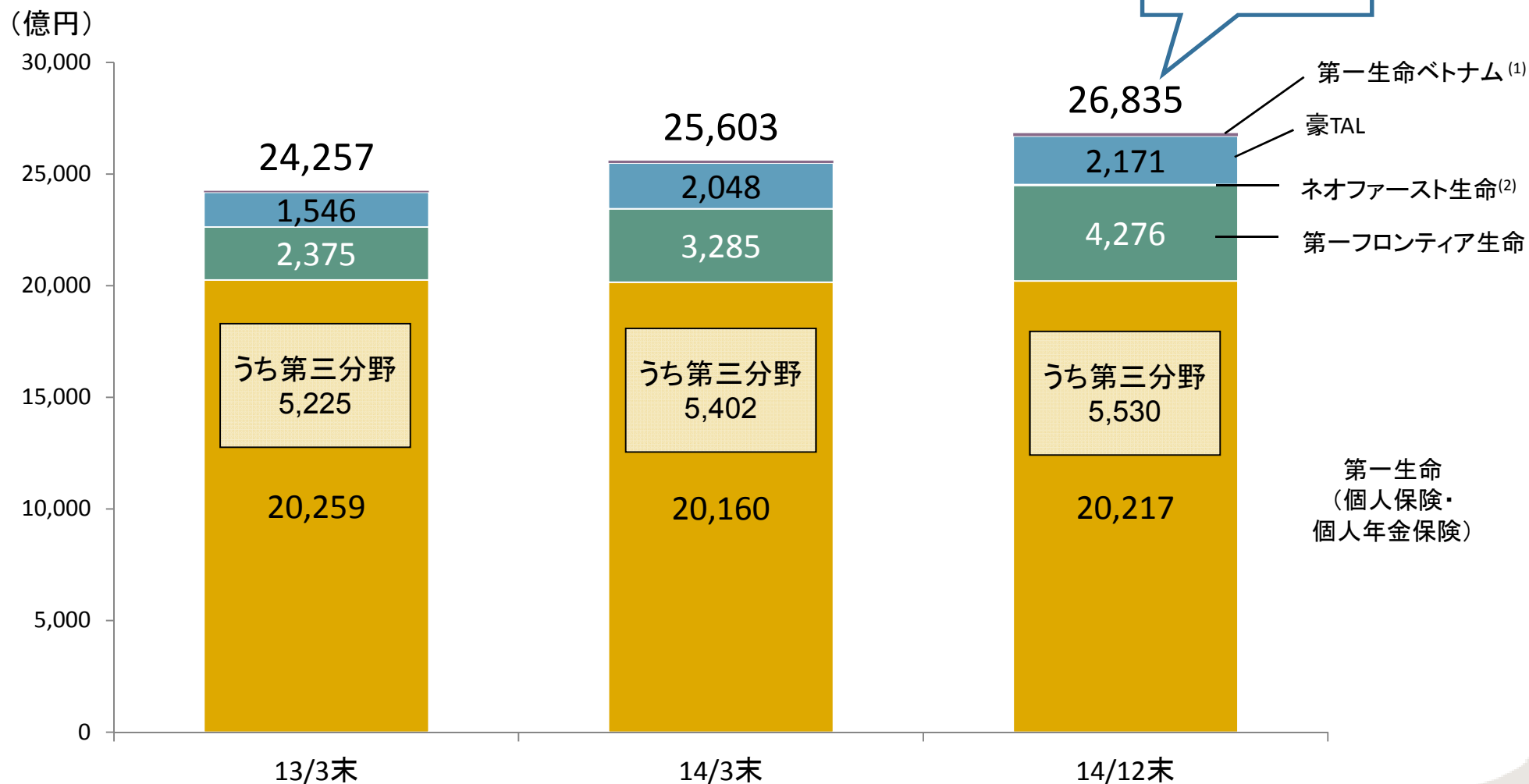
(2) ネオファースト生命の実績は、15/3期2Q・3Q(7-12月)のみを記載しています。

# 第一生命グループ業績 - 保有契約動向(年換算保険料ベース)

一生涯のパートナー

第一生命

## 第一生命グループの保有契約年換算保険料



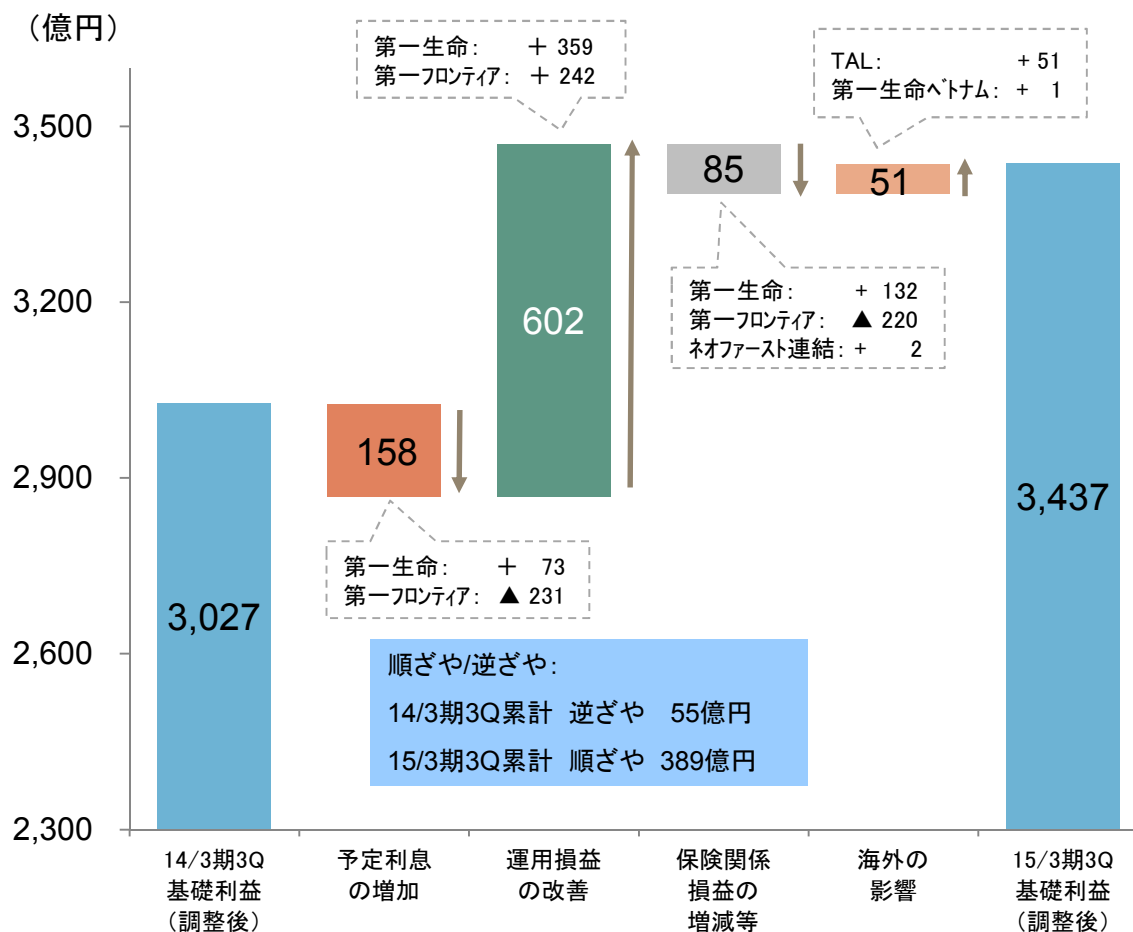
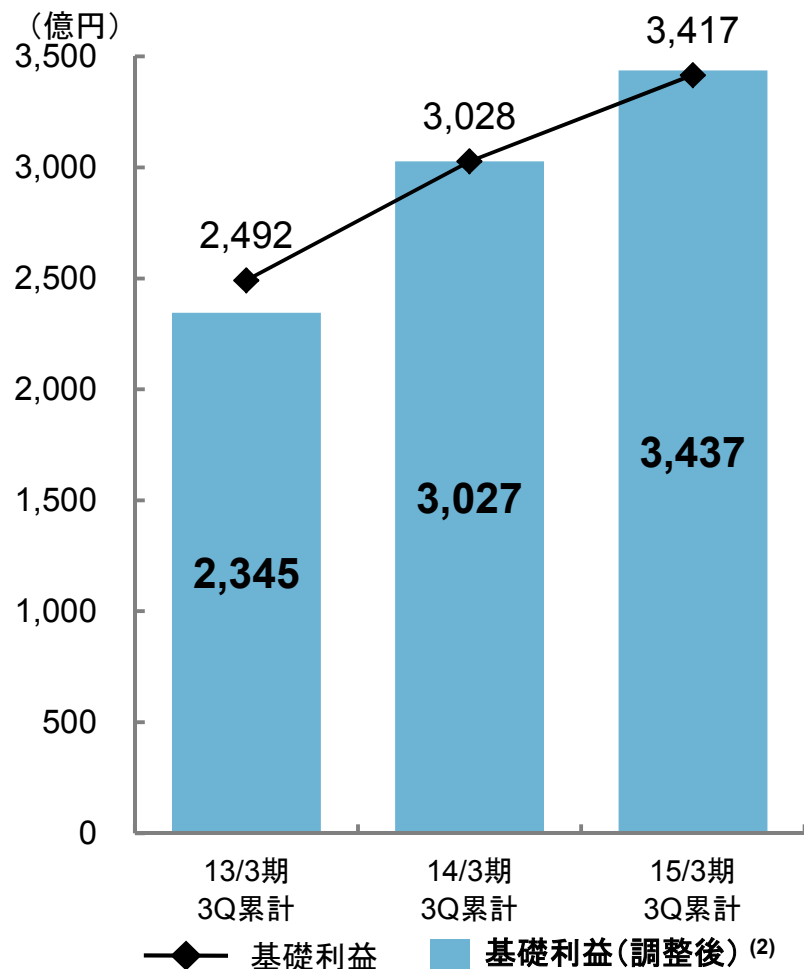
(1) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。13/3末、14/3末、14/12末の第一生命ベトナムの保有契約年換算保険料はそれぞれ75億円、108億円、132億円です。

(2) 14/12末のネオファースト生命の保有契約年換算保険料は37億円(うち第三分野は8億円)です。尚、ネオファースト生命の実績は、14/12末のみを記載しています。

# 第一生命グループ業績 - 基礎利益の状況

## 基礎利益 (1)

## 基礎利益(調整後)の変動要因 (1)(2)



(1) 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命(2014年7-12月のみ)の基礎利益、TALの修正利益(税引前換算)、第一生命ベトナムの税引前利益を合算し、第一生命グループ内の内部取引の一部を相殺。

(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額



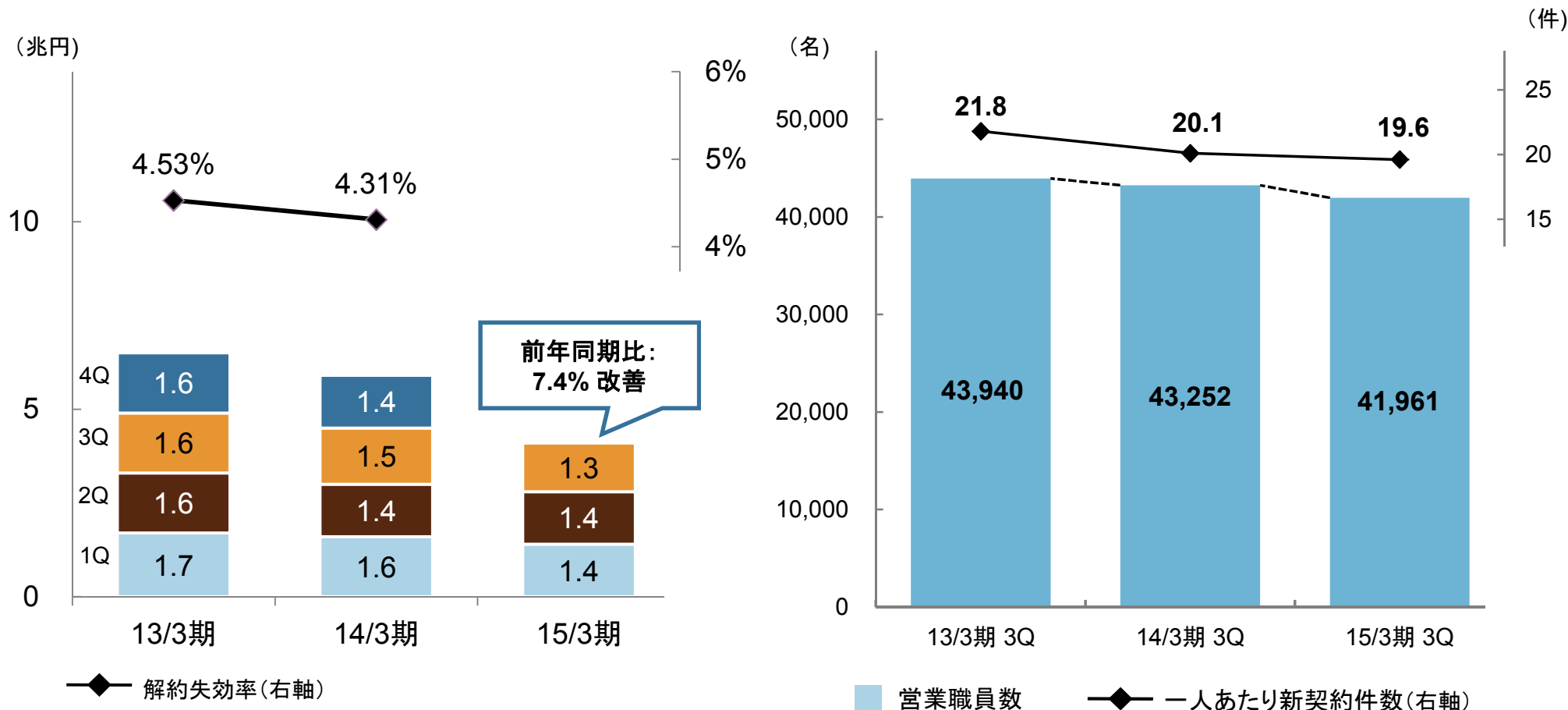
# 第一生命単体業績 - 解約失効高、営業職員数

一生涯のパートナー

第一生命

## 解約失効高(個人保険・個人年金)

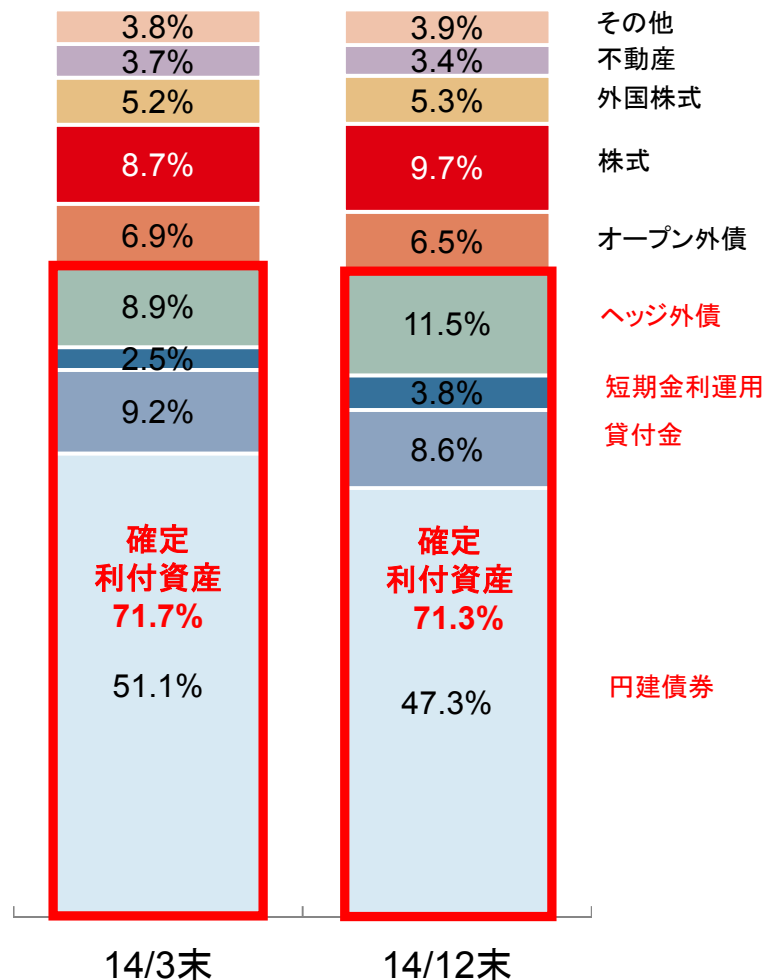
## 営業職員数および生産性 (1)(2)



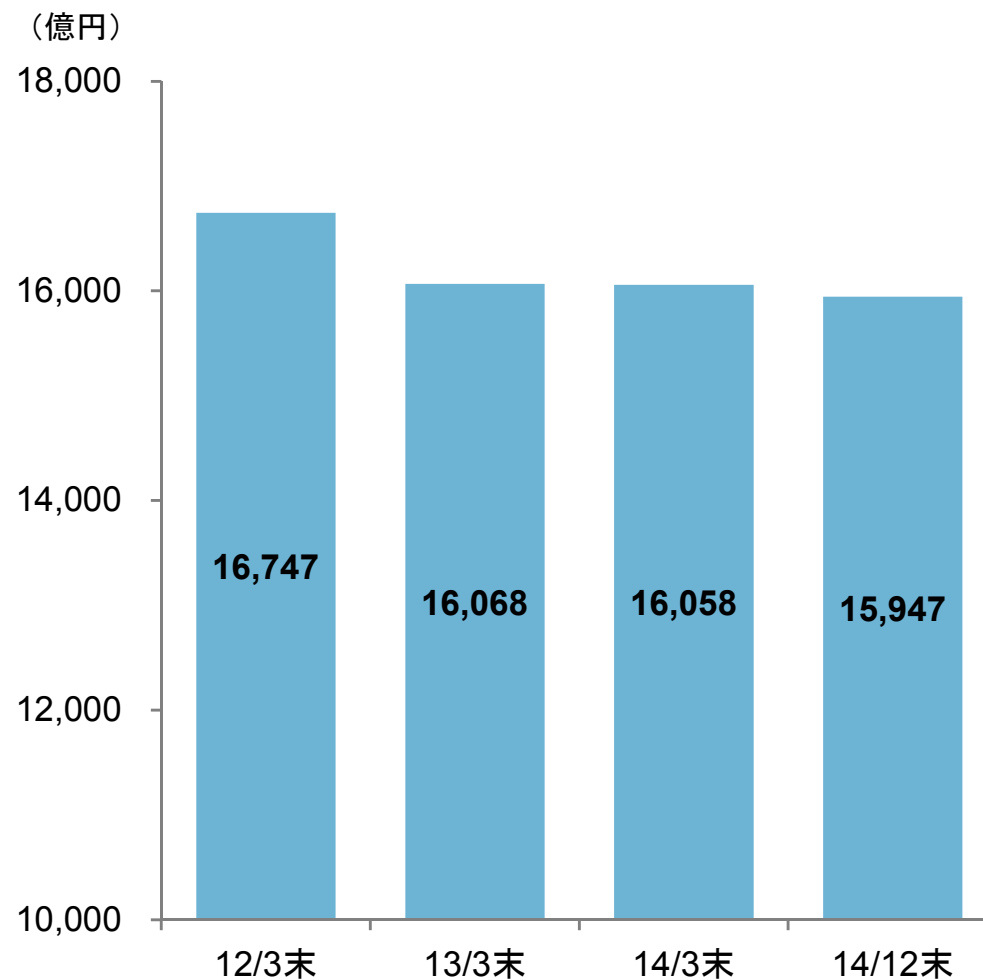
(1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。  
 (2) 各期間における新契約件数(転換含む)を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算しています。

# 第一生命単体業績 - 一般勘定資産運用の状況

## 資産の構成(一般勘定) (1)



## 国内株式の簿価 (2)



(1) 貸借対照表価額ベース

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)

# 第一生命単体業績 - 健全性指標

一生涯のパートナー

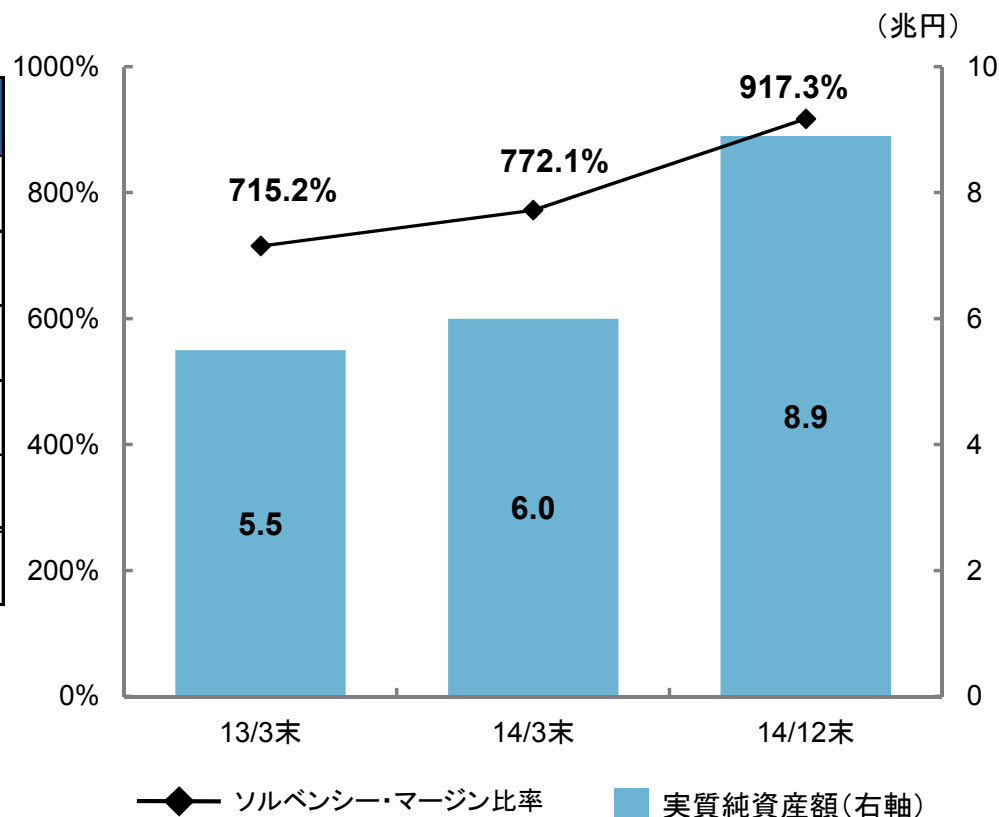
**第一生命**

## 含み損益(一般勘定)

## ソルベンシー・マージン比率 および実質純資産額

(億円)

	14/3末	14/12末	増減
有価証券	30,056	53,491	+23,434
国内債券	13,813	24,611	+10,798
国内株式	9,318	15,184	+5,866
外国証券	6,422	12,960	+6,537
不動産	482	672	+189
その他共計	30,505	54,947	+24,442



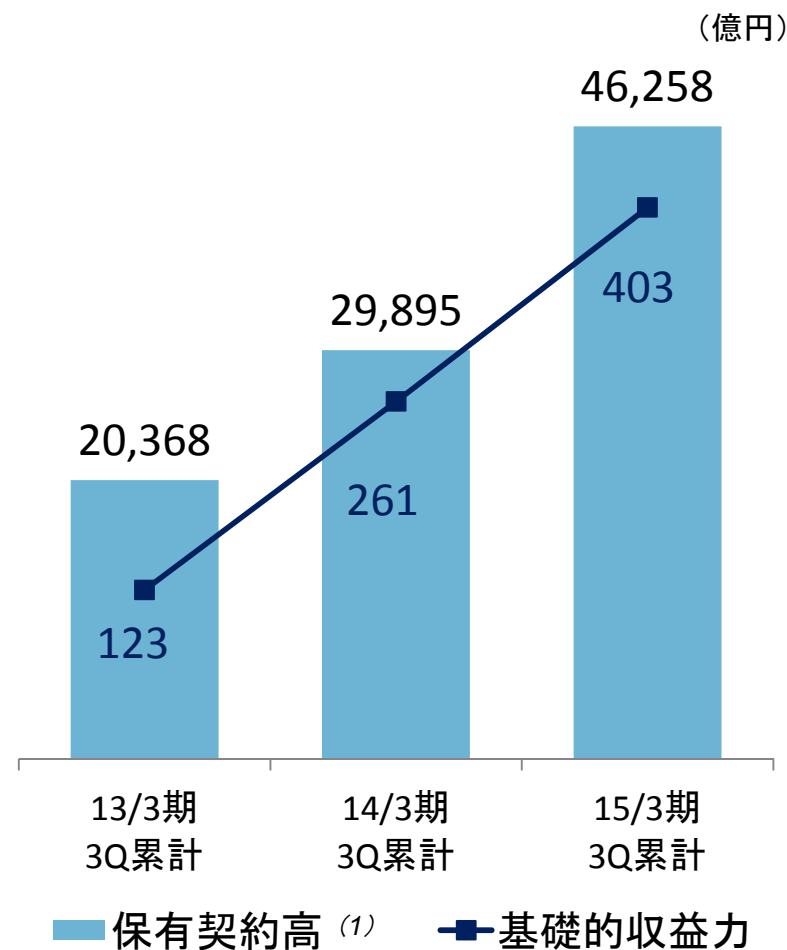
<参考> 連結ソルベンシー・マージン比率:  
2014年12月末 907.7%

収支の状況

(億円)

	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計
経常収益	10,364	16,877
うち保険料等収入	8,990	14,185
うち変額商品	2,363	1,458
うち円建定額商品	2,815	2,164
うち外貨建定額商品	2,930	9,187
うち資産運用収益	1,374	2,692
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	-	-
経常費用	10,489	16,953
うち責任準備金等繰入額	7,254	12,421
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(△は戻入)(B)	14	26
うち市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額(△は戻入)(C)	△ 13	275
うち危険準備金繰入額(D)	129	133
うち資産運用費用	360	71
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(E)	260	58
経常利益(△は損失)	△ 124	△ 75
純利益(△は損失)	△ 130	△ 90
(参考) 基礎的収益力 = 純利益 - (A) + (B) + (C) + (D) + (E)	261	403

保有契約高と基礎的収益力



(1) 保有契約高は各期間の末日時点

## 主要業績

(百万豪ドル)

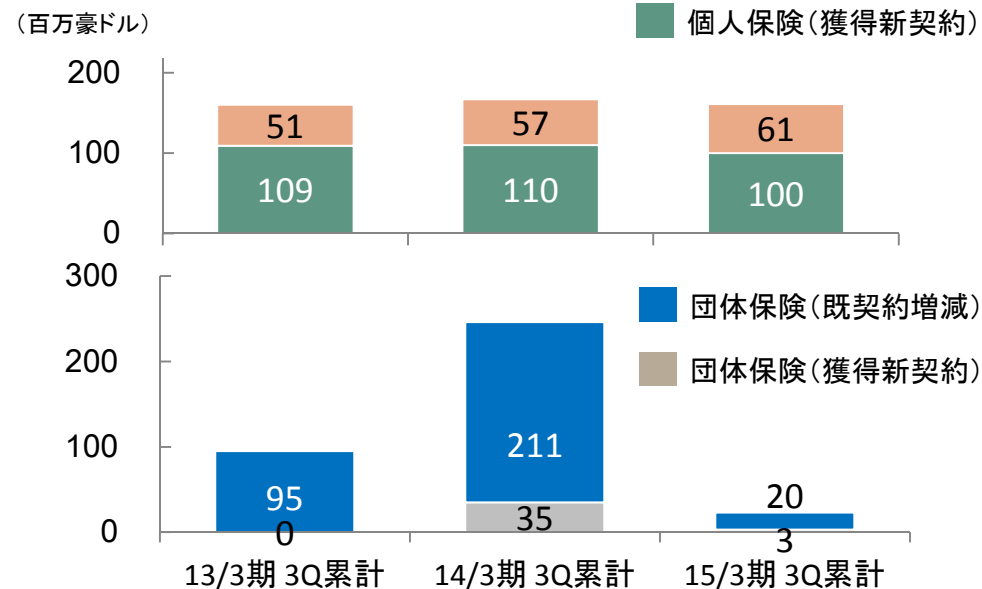
	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	前年 同期比
経常収益 (2)	2,062	2,362	+15%
うち保険料等収入 (2)	1,688	2,067	+23%
経常利益 (2)	85	150	+75%
純利益(A) (2)	52	109	+111%
修正額(B)	31	6	
うち負債割引率の変化	8	△ 20	
うち償却負担	15	16	
その他	7	11	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	84	116	+39%

### <参考>

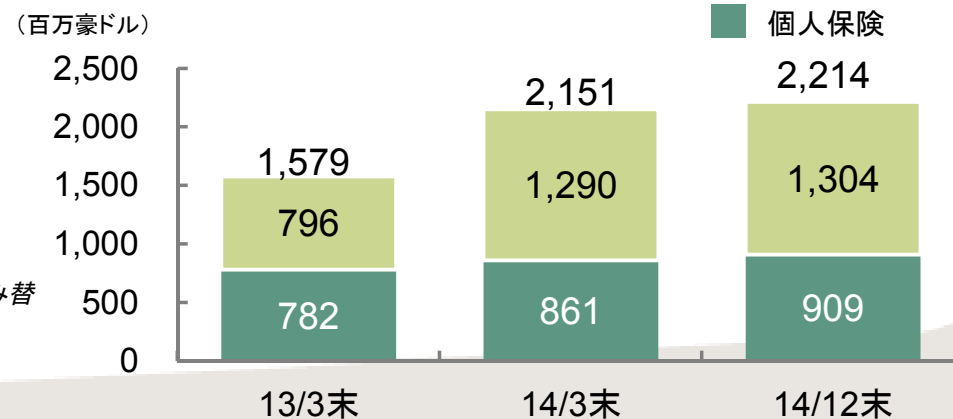
	13/12末	14/12末
為替レート(豪ドル)	93.24円	98.07円

- (1) 連結対象の豪持株会社 (TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd) に係る数値  
 (2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)

## 新契約年換算保険料



## 保有契約年換算保険料



# 第一生命グループ業績予想 - 2015年3月期業績予想

■ 連結純利益は通期業績予想を上回る進捗も、以下の理由で通期の業績予想を据え置き

- 法人実効税率の引き下げにより繰延税金資産の取り崩しが見込まれる
- 世界的な金利低下や欧州債務危機の再燃懸念等、金融市場環境を見極める必要がある

(億円)

	14/3期	15/3期(予) ※2014/11/14 発表予想	増減
<b>経常収益</b>	<b>60,449</b>	<b>64,090</b>	<b>+ 3,640</b>
第一生命単体	43,846	44,000	+ 153
第一フロンティア	14,178	17,370	+ 3,191
TAL (百万豪ドル)	2,849	3,440	+ 590
<b>経常利益</b>	<b>3,047</b>	<b>3,180</b>	<b>+ 132</b>
第一生命単体	3,076	3,100	+ 23
第一フロンティア	△ 158	△ 30	+ 128
TAL (百万豪ドル)	139	130	△ 9
<b>当期純利益</b>	<b>779</b>	<b>800</b>	<b>+ 20</b>
第一生命単体	855	790	△ 65
第一フロンティア <sup>(1)</sup>	△ 152	△ 60	+ 92
TAL (百万豪ドル)	90	90	+ 0
<b>1株当たり配当金</b>	<b>20円</b>	<b>25円</b>	<b>+5円</b>

(参考: 基礎利益)

第一生命グループ	4,461	4,400程度	△ 61
第一生命単体	3,998	4,000程度	+ 1

(1) 持分考慮後(2014年3月期)

- グループ各社のEEVが増加し、約5兆3,900億円に
  - 歴史的な低金利を受け保有契約価値が減少するも、修正純資産は増加し、EEVが増加

## 第一生命グループのEEV(試算値)

(億円)

	14/9末	14/12末	増減
EEV	51,554	約53,900	約+2,300
修正純資産	44,730	約56,100	約+11,400
保有契約価値	6,824	約△2,200	約△9,100

## 第一生命(単体、試算値)

(億円)

	14/9末	14/12末	増減
EEV	50,691	約52,600	約+1,900
修正純資産	45,405	約56,300	約+10,900
保有契約価値	5,286	約△3,800	約△9,000

## 第一フロンティア生命(試算値)

(億円)

	14/9末	14/12末	増減
EEV	2,099	約2,300	約+200
修正純資産	1,479	約1,800	約+400
保有契約価値	619	約500	約△200

＜参考＞ 第一生命(単体)の2014年12月末の保有契約をベースに9月末の国債のイールドカーブを使用した場合の保有契約価値は、概算で約5,900億円となります。

TAL(試算値) (億円)

	14/9末	14/12末	増減
EEV	2,074	約2,400	約+300
修正純資産	1,155	約1,300	約+100
保有契約価値	919	約1,100	約+200

<参考>TAL(豪ドルベース、試算値) (百万豪ドル)

	14/9末	14/12末	増減
EEV	2,179	約2,400	約+200
修正純資産	1,213	約1,300	約+100
保有契約価値	965	約1,100	約+100

14/9末EEV: 14/9末の為替レート(1豪ドル=95.19円)を使用

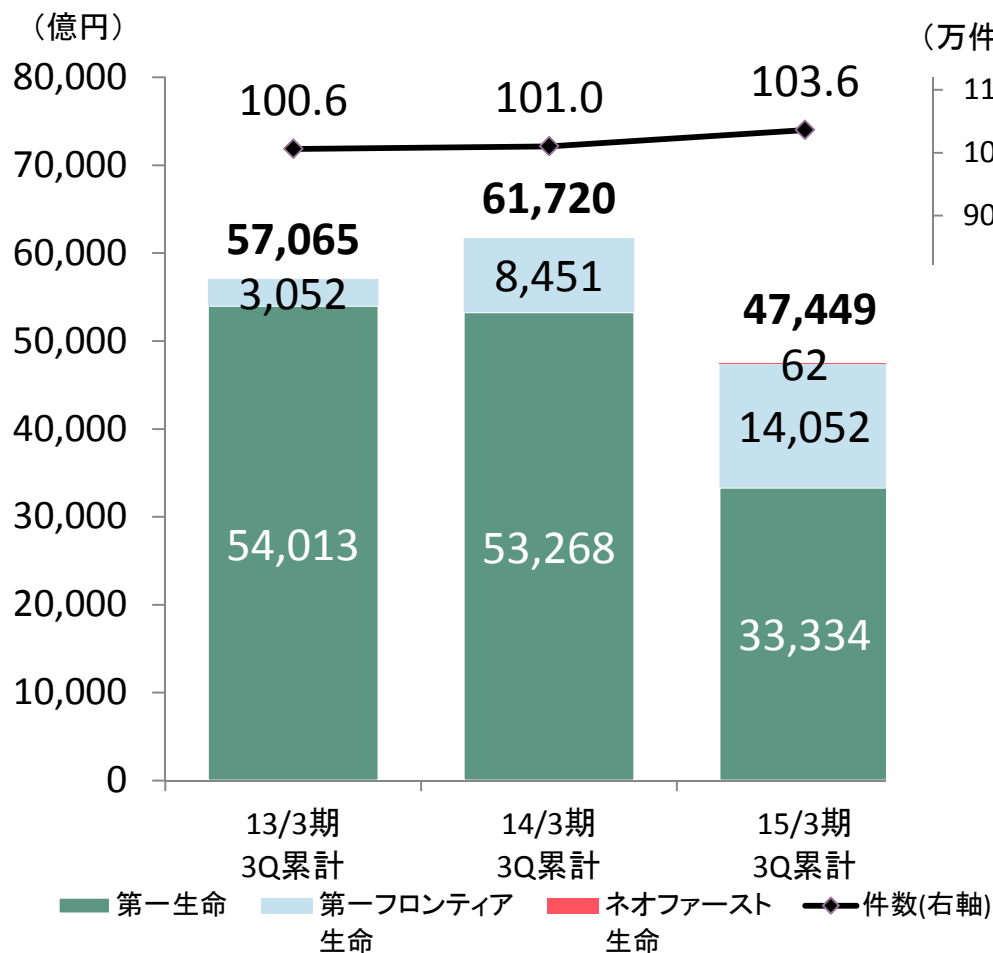
14/12末EEV: 14/12末の為替レート(1豪ドル=98.07円)を使用



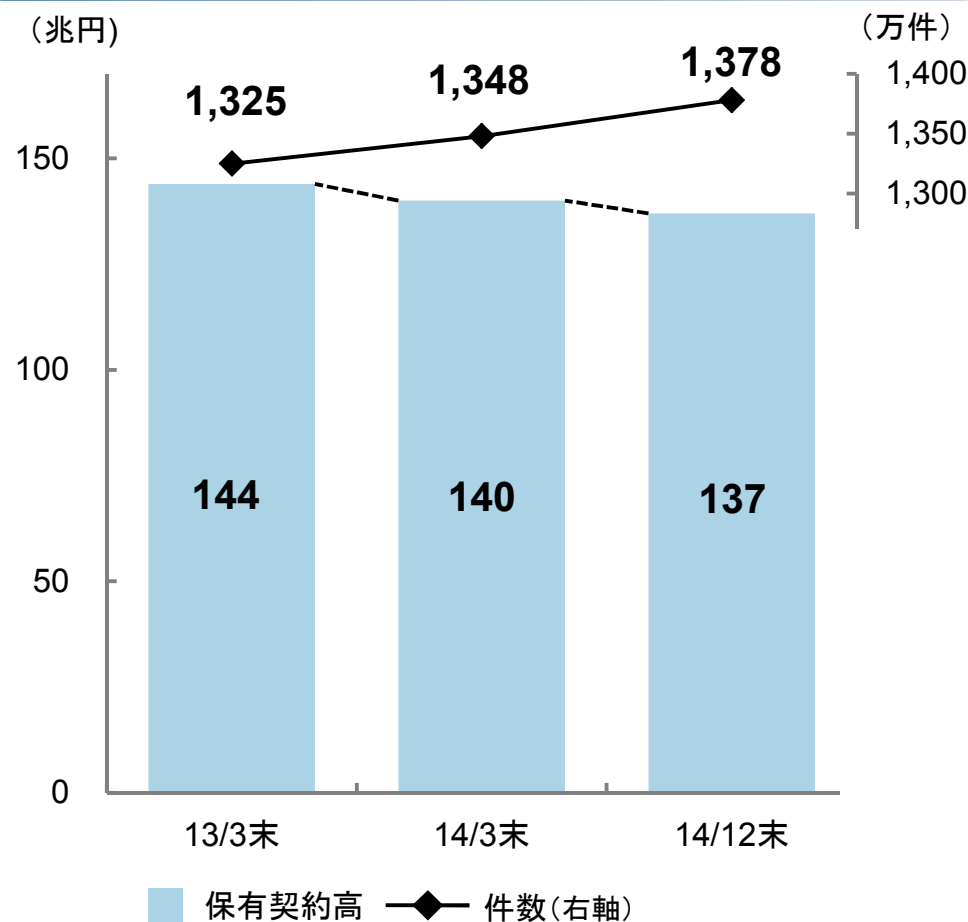
## 参考データ

# 参考データ - 契約高の動向(個人保険・個人年金保険)

## 新契約高 (1)



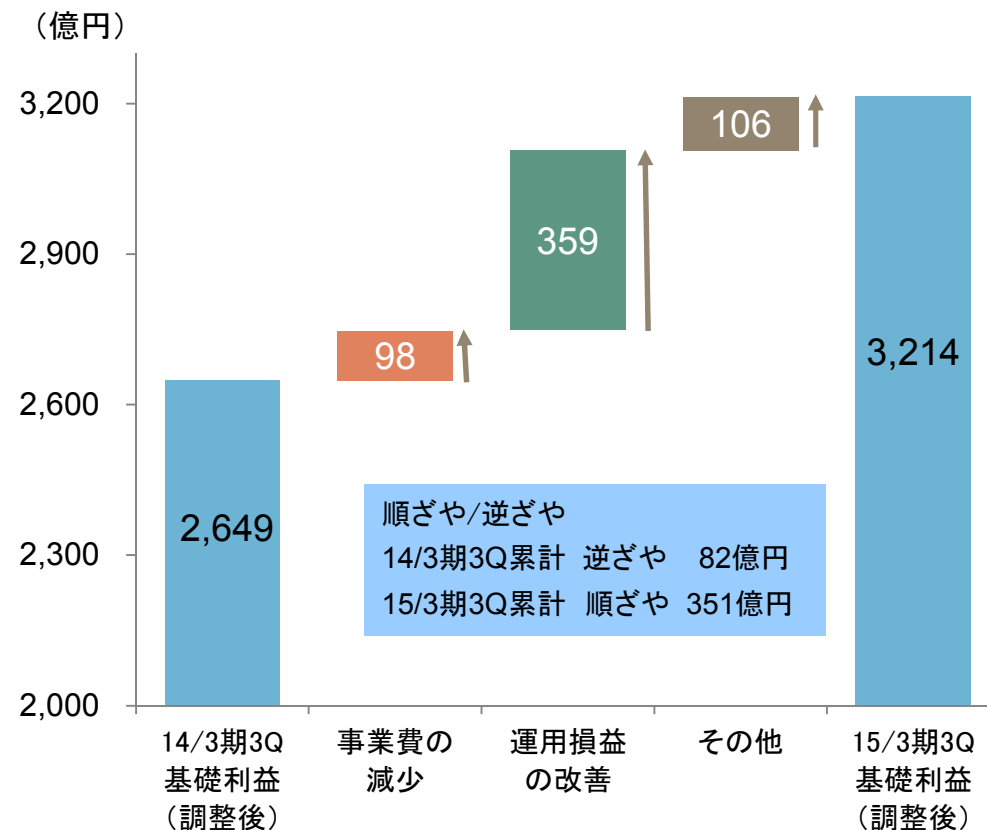
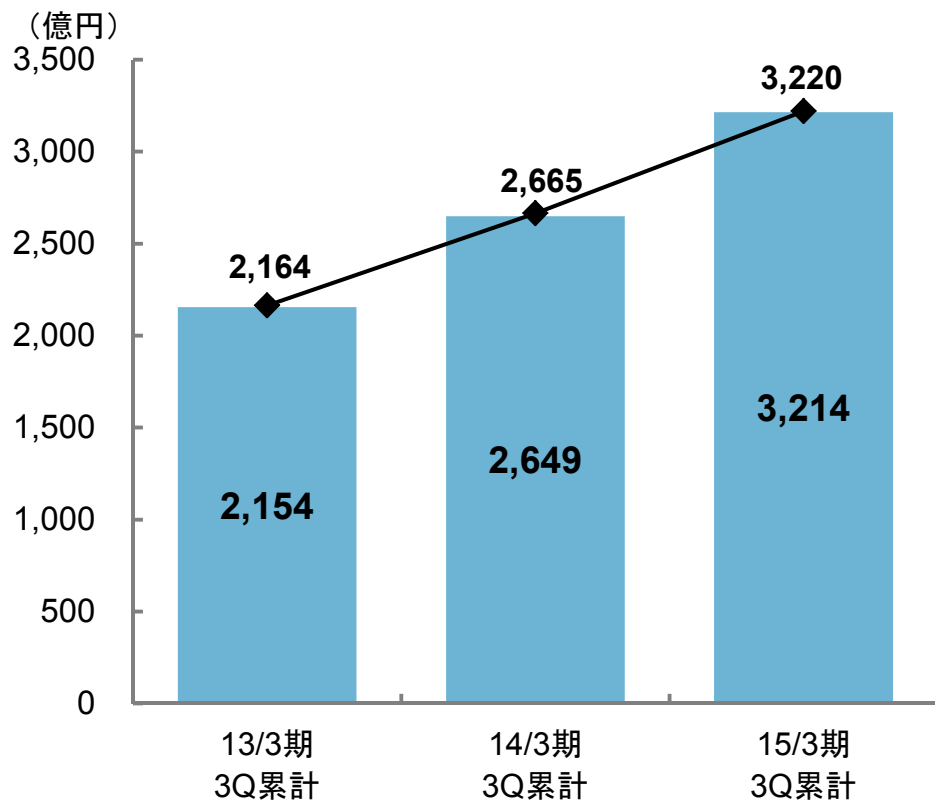
## 保有契約高 (1)



- (1) 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の合算ベース。ネオファースト生命の新契約高は、15/3期2Q・3Q(7-12月)のみを記載し、保有契約高は14/12末のみを記載しています。
- (2) 契約高とは、生命保険会社が保障する金額の総合計額です。当社が成長分野の一つとして取り組む医療・介護等の第三分野商品は、死亡保障を主とする従来の第一分野商品と比べ、契約高が一般的に低くなります。

## 基礎利益

## 基礎利益(調整後)の変動要因(1)



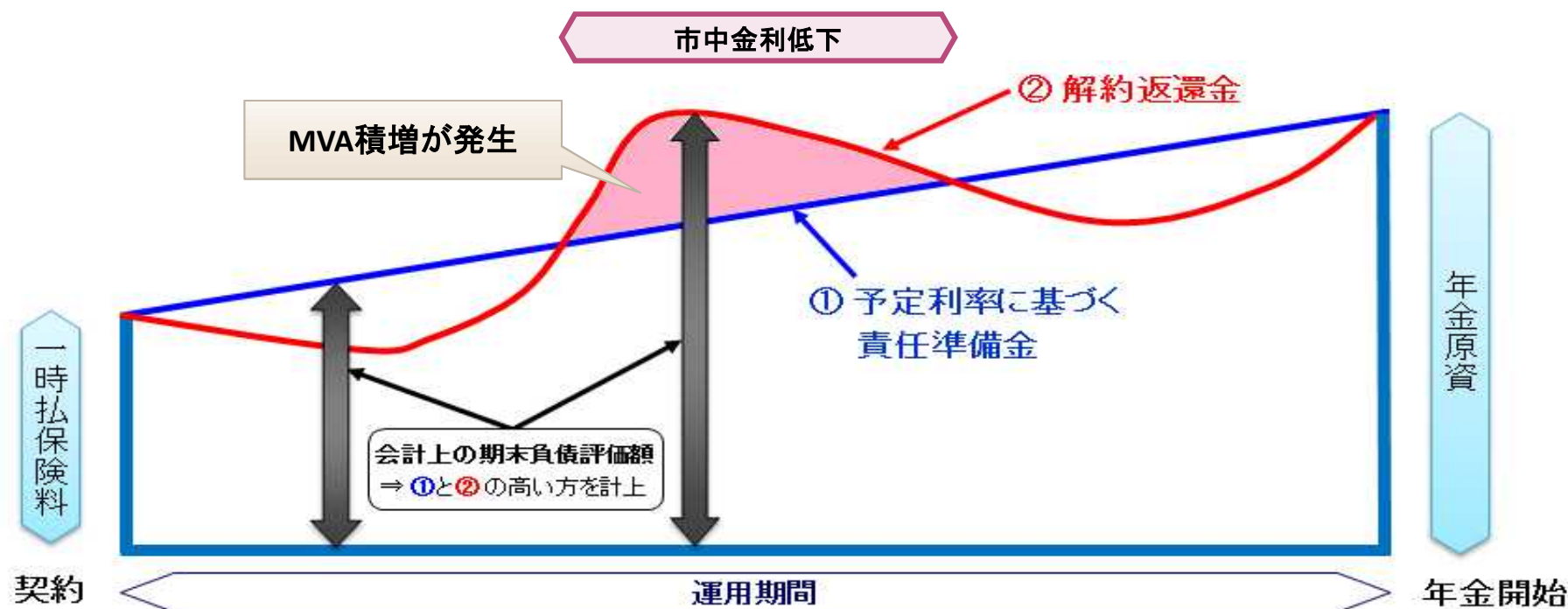
◆ 基礎利益    ■ 基礎利益(調整後) (1)

(1) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額

# 第一フロンティア生命の保険商品に係る市場価格調整について

- 第一フロンティア生命(DFL)の保険商品には、解約時に市中金利変動に伴う運用資産の価値変動を解約返還金額に反映させる「市場価格調整(MVA)」を設定するものがある
- MVA付き商品の会計上の負債は、「解約返還金」と「予定利率により定められた責任準備金」の大きい方を計上する
  - 負債側で、金利低下により「解約返還金」が「責任準備金」を上回る場合、責任準備金の積増しが発生。
- 資産側の債券価格の上昇分(含み益)は損益計算書に反映されないため、会計上は収支が悪化
  - あくまで会計上の一時的な評価の変動。解約時に債券が売却され、含みが実現されるので、実質的な損失ではない。また金利が上昇に転じれば積み増し分は取り崩す。

## 【イメージ図(MVA付個人年金の例)】



# 参考データ - 第一生命(単体)財務諸表(要約)

一生涯のパートナー

第一生命

## 損益計算書<sup>(1)</sup>

(億円)

	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	増減
経常収益	32,684	34,588	+1,904
保険料等収入	21,009	23,166	+2,157
資産運用収益	9,295	8,852	△443
うち利息・配当金等収入	5,560	5,898	+337
うち有価証券売却益	1,738	1,314	△424
うち特別勘定資産運用益	1,759	1,465	△293
その他経常収益	2,379	2,569	+190
経常費用	30,346	31,785	+1,439
うち保険金等支払金	17,792	19,797	+2,005
うち責任準備金等繰入額	4,822	4,800	△22
うち資産運用費用	1,546	1,201	△344
うち有価証券売却損	490	200	△290
うち有価証券評価損	8	5	△2
うち金融派生商品費用	400	261	△139
うち事業費	3,025	2,926	△98
経常利益	2,338	2,803	+465
特別利益	23	29	+5
特別損失	289	183	△105
契約者配当準備金繰入額	702	784	+81
税引前純利益	1,370	1,865	+495
法人税等合計	541	551	+10
純利益	828	1,313	+484

## 貸借対照表

(億円)

	14/3末	14/12末	増減
資産の部合計	340,288	365,612	+25,324
うち現預金・コール	9,084	14,210	+5,125
うち買入金銭債権	2,758	2,689	△68
うち有価証券	280,051	299,159	+19,107
うち貸付金	30,231	30,464	+233
うち有形固定資産	12,155	11,941	△214
うち繰延税金資産	111	-	△111
負債の部合計	320,569	332,063	+11,493
うち保険契約準備金	297,440	302,088	+4,648
うち責任準備金	291,992	296,726	+4,733
うち危険準備金	5,310	5,445	+135
うち退職給付引当金	4,071	3,964	△107
うち価格変動準備金	1,164	1,269	+105
うち繰延税金負債	-	4,045	+4,045
純資産の部合計	19,718	33,549	+13,830
うち株主資本合計	6,962	10,854	+3,892
うち評価・換算差額等合計	12,749	22,686	+9,936
うちその他有価証券評価差額金	13,158	22,531	+9,372
うち土地再評価差額金	△383	△385	△2

(1) 特別勘定資産運用損(益)は、責任準備金の戻入れ(繰入れ)で相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

## 参考データ - 第一フロンティア生命財務諸表(要約)

一生涯のパートナー

第一生命

### 損益計算書

(億円)

	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	増減
経常収益	10,364	16,877	+6,512
うち保険料等収入	8,990	14,185	+5,194
うち資産運用収益	1,374	2,692	+1,318
経常費用	10,489	16,953	+6,464
うち保険金等支払金	2,499	3,677	+1,177
うち責任準備金等繰入額	7,254	12,421	+5,166
うち資産運用費用	360	71	△289
うち事業費	339	703	+363
経常利益(△は損失)	△124	△75	+48
特別損益	△5	△14	△8
税引前純利益(△は損失)	△129	△89	+40
法人税等合計	1	0	△0
純利益(△は損失)	△130	△90	+40

### 貸借対照表

(億円)

	14/3末	14/12末	増減
資産の部合計	33,924	46,829	+12,905
うち現預金・コール	780	1,342	+561
うち有価証券	32,206	44,082	+11,875
負債の部合計	33,440	46,184	+12,743
うち保険契約準備金	32,883	45,304	+12,421
うち責任準備金	32,858	45,268	+12,409
うち危険準備金	1,072	1,206	+133
純資産の部合計	483	645	+162
うち株主資本合計	403	313	△90
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△1,446	△1,536	△90

損益計算書<sup>(1)(2)</sup>

(百万豪ドル)

	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	増減
経常収益	2,062	2,362	+300
保険料等収入	1,688	2,067	+379
資産運用収益	244	193	△51
その他経常収益	129	101	△28
経常費用	1,976	2,212	+235
保険金等支払金	1,153	1,355	+202
責任準備金等繰入額	333	313	△20
資産運用費用	24	28	+4
事業費	401	433	+32
その他経常費用	64	81	+16
経常利益	85	150	+64
法人税等	33	40	+6
純利益	52	109	+57
修正利益 (Underlying profit)	84	116	+32

貸借対照表<sup>(1)(2)</sup>

(百万豪ドル)

	14/3末	14/12末	増減
資産の部合計	6,086	6,544	+458
現預金	676	893	+217
有価証券	2,852	2,964	+112
有形固定資産	0	0	+0
無形固定資産	1,271	1,243	△28
のれん	791	786	△4
その他の無形固定資産	480	457	△23
再保険貸	72	120	+47
その他資産	1,213	1,321	+108
負債の部合計	4,184	4,532	+348
保険契約準備金	2,960	3,215	+254
再保険借	385	368	△17
その他負債	721	840	+118
繰延税金負債	117	108	△8
純資産の部合計	1,901	2,011	+109
株主資本合計	1,901	2,011	+109
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	270	380	+109

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正利益を除く)

# 参考データ - 金融市場への感応度(2014年12月末、第一生命単体)

	感応度 <sup>(1)</sup>	含み損益ゼロ水準 <sup>(2)</sup>
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 1,700億円の増減 (2014年3月末:1,700億円)	日経平均株価 ¥8,800 (2014年3月末:¥9,200)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 2,600億円の増減※ (2014年3月末:2,400億円)  ※その他有価証券区分:300億円の増減 (2014年3月末:300億円)	10年国債利回り 1.2%※ (2014年3月末:1.2%)  ※その他有価証券区分:1.4% (2014年3月末:1.4%)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 260億円の増減 (2014年3月末:280億円)	ドル/円 \$1 = ¥95 (2014年3月末:¥89)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準



本資料の問い合わせ先  
第一生命保険株式会社  
経営企画部 IR室  
電話:050-3780-6930

## 免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。